越前鯖江地域における歴史的観光資源を活用したインバウンド滞在促進事業

中部運輸局

越前鯖江地域でこれまでに築き上げられた伝統産業を核としたコンテンツを中心に、インバウンドの誘客と消費拡大に繋げるため、課題の洗い出し、欧米豪の富裕層向けの受入体制の構築に向けた調査を行い、歴史的観光資源を活用したまちづくりの推進を図る。

※本事業は、観光庁の「歴史的観光資源を活用したまちづくり事業」の調査事業として実施

調査内容

① 旅行エージェントの招請（12月）

○ 対象：欧米豪（主に米国市場を中心）の富裕層
○ 海外１社、国内（ﾗﾝﾄﾞｵﾍﾟﾚｰﾀｰ等） ３社

＜海外＞

・**Remote Lands**
米国の富裕層及びVIP、アジアを旅行するUHNWIを主に顧客に持つ

＜国内＞

Tokyo Way、**リベルタ(株)**、 **Arigato Travel**
いずれも欧米豪の富裕層向け旅行会社と繋がりの強いランド

○ 主な招請対象の歴史的観光資源：
眼鏡、焼き物、刃物、箪笥、漆器、和紙 等

○ 招請では、伝統産業中心の観光資源の評価は高かったものの、受入体制や宿泊施設についての　課題が挙がった。

② 観光関係者向け勉強会（2月）

○ 伝統産業事業者を中心とした観光関係者向けの勉強会及びワークショップを開催

○ Bradshaw Alexander（ブラッドショー・アレキサンダー）氏（愛称：アレックスさん）をメイン講師に、富裕層の嗜好、観光資源の活用及び消費拡大に向けた方策、地域における受入体制の整備に向けた課題及び解決方法等について学んだ。

○ 勉強会では、富裕層についての理解が深まり、今後積極的に受入れていきたいとの意見が多く出た一方で、富裕層に対応した、移動手段、宿泊施設、ガイドの確保や育成が急務であるとの課題が挙がった。

越前鯖江地域におけるインバウンドの滞在促進

「歴史的観光資源を活用したまちづくり」の「取組展開地域」または「面的取組展開地域」への展開 ※

※「観光立国推進基本計画」（2023年３月31日閣議決定）では、官民が連携して古民家等の歴史的資源を観光まちづくりの核として再生・活用する取組について、令和７年度までに300地域に拡大するとともに、取組地域の高付加価値化を目指す面的展開地域を50地域展開すると掲げております。